



超勤縮減の切り札！校内で2学期制の論議を！！

12月9日の分会長会で二学期制のことが話題になりました。北九州市の対応を調べてみると、「校長は、教育上必要があるときは、学年を分けて2学期とすることができる。この場合において、校長はあらかじめその理由及び期日を明らかにし、教育委員会の承認を受けなければならない。」と、北九州市小中学校等管理規則に掲載されています。11月9日に北九州市教育委員会より「2学期制の効果等について」という文書が公開されています(12/15市教組LINEにて連絡済み)。この文書には、・二学期制導入の経過・本市の状況・三学期制と二学期制のスケジュール比較・現在の実施校・メリットとデメリット・他都市の状況等が書かれています。・スケジュール・実施校・メリットとデメリットについて引用掲載します。

○3学期制と2学期制のスケジュールの比較

3学期制	1学期	夏休み	2学期	冬休み	3学期	春休み
2学期制	前期	夏休み	秋休み	後期	冬休み	春休み

○現在(R3年度～)の実施校 (中学校区でまとまっているのは篠崎中校区のみ)

- ・中学校(2校/62校) ・篠崎中学校 ・白銀中学校
- ・小学校(8校/128校) ・泉台小・清水小 ・到津小・井堀小・中井小・南丘小・南小倉小・西小倉小

○メリットとデメリット

※中学校区でまとまる必要はありません！

メリット【時数確保】 始業式等の時間削減で授業時数を確保できる。(6コマ程度)

【評価】 適切に学習状況进行评估し、個に応じた指導ができる。特に特別支援学校では、成長や変容を捉えやすく、個に応じた指導がしやすい。

【指導のゆとり】 **通知表作成の回数が減ったことで、ゆとりをもって児童生徒と向き合う時間を確保できる。**

デメリット【動機付け】 学習の動機付けに課題がある。(考査・通知表の回数減のため)

【保護者への説明】 保護者が学校での学習や生活の様子が把握し難い。

【入試への対応】 考査・評定と入試業務のスケジュールがずれているため、調整が必要。

どの学校でも「業務改善」の職員会議を行っていると思いますが、なかなか大きな「超勤縮減」につながる取り組みはできていないのではないのでしょうか。2020年に市内の多くの教職員が「2学期制」を経験しましたが、その時みなさんはどのように感じられましたか？上記のメリットの中で「通知表作成の回数が減ったことでゆとりにつながった」ことは大幅な超勤縮減につながったと私たちはとらえています。みなさんも初めて「超勤縮減」を体感したのではないのでしょうか。私たちは、上記のデメリット以上の「超勤縮減効果」が2学期制にはあると考えています。もう一度各学校で「2学期制導入」の論議をしようではありませんか！そのための「知恵と勇気」が市教組にはあります。困ったときは相談にのりますので連絡してください。

【ほっきゅう26号でお知らせした令和4年度の給与改定について・補足】

I 令和4年度の北九州市立の小学校、中学校及び特別支援学校の教職員の給与改定については、3年ぶりのベースアップではあるのですが、あくまでも平均値です。年齢によって差額が生じます。

給料	地域手当	計
587円	18円	605円
0.15%	0.00%	0.15%

また、組合と市教委との交渉の結果、35歳までの昇級だったのを55歳まで適用されることになりました。

交渉!



市教組は全教職員のために!

わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください!

///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL(093)953-0381

